

2024年新春宣伝
1月4日(木) 8:15~ JR天王寺駅東口

2024年新春旗開き学習会
1月10日(水) 18:30~ 国労大阪会館3階 大会議室
「ほんまにアカン! 夢洲での万博・カジノ」(仮)

大阪労連会第56回評議員会
1月20日(土) 13:00~ 中央会館

一部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています 1993年6月22日第三種郵便物認可

あ
ん
な
い

イスラエルとハマスは即時停戦を!

日本政府は即時停戦の外交努力をつくせ!



11月17日 アメリカ領事館前抗議宣伝



11月28日 京橋駅での宣伝



11月22日 西淀川スタンディング行動



11月23日 泉南市九条の会宣伝行動



11月20日 高槻「パレスチナに平和を」緊急行動

10月7日から始まったイスラエルとハマスの武力衝突で、イスラエル軍は、ガザ地区への空と陸と海からの大規模な無差別攻撃を連日連夜行っています。また、電気、水、食料、医薬品の供給をストップしています。さらに、甚大な人道的災厄をもたらしている住民の南部への移動強要、その南部にも空爆をしています。報道では1万3千人以上が亡くなり、負傷者は3万人をこえており、そのほとんどが子ども・女性・高齢者です。

11月17日、大阪労連、大阪平和委員会・大阪革新懇・大阪原水協が呼びかけてイスラエルへの最大支援国であるアメリカに対する抗議として、アメリカ領事館前で緊急抗議宣伝をとりくみました。「パレスチナに平和を」「アメリカはイスラエルへの軍事支援をやめて、停戦交渉を行え」とそれぞれの弁士が訴えました。11月28日にも京橋駅で宣伝行動を行いました。また、各地域でも停戦を求める宣伝やパレードなどがとりくまれています。

軍事対軍事の悪循環を断ち、人道を最優先にした外交努力をすることが、各国のリーダーに求められています。平和憲法9条を持つ日本こそ、その先頭に立つべきです。「日本政府は、即時停戦の外交努力をつくせ」の声を地域や職場で広げましょう。

ろーれん クロスワードパズル

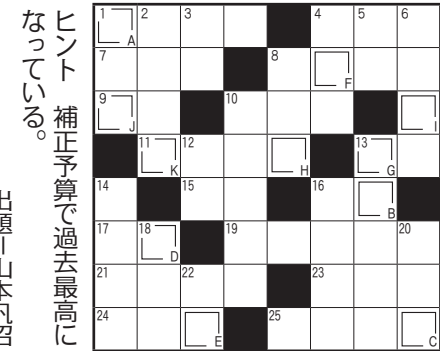
【とき方】二重カッコをアルファベット順に並びかえてください。あらわれた言葉・成句・詩歌が答えです。
一部の文字は濁点に読み替えてください。

タテのカギ

- 調子。お腹の〜が悪い
- 渦巻く潮流。鳴門の大
- すき焼きの略。うどん
- 自力の対。〜本願
- 〜たる目的
- 意見や主張を説いて歩くこと
- 物事の起る原因
- 野球で外野を守る選手

ヨコのカギ

- 奇数と
- 多くの種類。〜多様
- 小豆、何と読む?
- 大気中の空気の流れ。上昇
- 〇〇の上にも三年
- 室外の空気。〜に触れる
- 印刷を押すこと。捺印
- 一〇〇に秀でる
- ウーロン・ほうじ・抹茶
- 精も〇〇も尽き果てた
- よしあし、賛否。〇〇



出題 山本汎昭

ハガキまたはE-mailで〒・住所・氏名・組合名を必ず明記してください。
〈宛先〉〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館1F 大阪労連機関紙係
E-Mail: kikanshi@osaka-rouren.gr.jp
〈締切〉1月25日(木)
(発表は2月号)
〈賞品〉正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります



安井一生(貝塚市職労)、山下知枝(東大阪市職労)、中瀬恵子(松原市職労)、船本直宏(府職労)、増尾能宏(府高教)、河野裕美(大障教)、前久保直子(大阪いずみ生協労組)、木村貴昭(全印総連関西共同印刷労組)、松井史(西淀川医療労組)、糠山和浩(大阪よこがわ市民生協労組)



©2023 映画「隣人X 疑惑の彼女」製作委員会
©パリュスあや子/講談社



©2023 「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」製作委員会

場公開中。8日より劇場公開中。

「隣人X 疑惑の彼女」
「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」
「隣人X 疑惑の彼女」で、7年ぶりの主演となる上野樹里が主人公木良子を演じます。紛争のため故郷を追われた惑星難民Xの受け入れを発表したアメリカに追隨した日本が舞台です。Xの姿かたちは人間をコピーし区別がつかず、日常に紛れ込みどこで暮らしているのか、誰もわかりません。人々は見つけ出そうと躍起になって社会に不安や動揺が広がっています。雑誌記者の笹恵太郎(林遣都)は、正体を隠し、X疑惑のある良子に接近し、ふたりは徐々に距離を縮めます。笹は、彼女への思いと罪悪感、記者としての矜持に引き裂かれそうになりながらも、ある真実にたどり着きます。見終わると、空気のよ

「隣人X 疑惑の彼女」
「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」
「隣人X 疑惑の彼女」で見えない差別や偏見の恐ろしさに気づかされるのは、12月1日より劇場公開中。「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」は、戦時中の日本にタイムスリップした現代の女子高生と特攻隊員の青年の切ない想いを描いた恋物語です。今の生活に不満ばかりの女子高生・加納百合(福原遥)は、進路面談の日に母親と喧嘩をして家出をし、目が覚めるとそこは1945年、敗戦間近の日本でした。途方に暮れる百合は、偶然通りかかった佐久間彰(水上恒司)に助けられ、彼の誠実さや優しさにどんどん惹かれていきます。しかし、彰は特攻隊員で、命を懸け明日にも戦地に飛ぶ運命でした。劇中で、現在のガザなどと同じ無差別攻撃のシーンがあります。その惨禍をもとに作られた日本国憲法。憲法前文は一読の価値があります。12月8日より劇場公開中。

秋の共済拡大・紹介キャンペーン(10月1日~12月31日) もあと一か月足らずとなりました。

今、全労連共済の火災共済で住宅50口以上、家財50口以上それぞれ新規加入・増口すると1,000円のクオカードをプレゼントします。住宅・家財どちらか50口以上加入・増口でも500円のクオカードをプレゼントします。掛金も一般損保にくらべはるかに安く、木造なら1口1か月5円で年間たったの60円、坪数に応じて最高300口(最高保障3,000万円1か月1,500円年間18,000円)まで加入することができます。

年金者組合では対話の中で、加入している一般損保の掛金が4分の1になることがわかり、火災共済に変更していただいた例もあります。この際、地震等共済金も付いた火災共済、また生命、医療、交通共済も含めキャンペーン期間中の加入をお勧めします。

